



地学野外観察「札幌近郊の地質調査」の報告

先日、地学野外観察を実施しました。今回は3～5年生、合計18名が参加しました。そのときの様子を引率教諭の一人である大園先生に文章をまとめていただいたので、ご紹介します。

「地学野外観察」〈札幌近郊の地質調査〉を終えて 5年副担任 大園綾奈

地学野外観察に初めて参加して、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。私自身、地学に親しむのは大学以来でとても懐かしい面もありました。また、札幌の地層がどのようになっているのかを実際に石の内部から考察したり、土地の高低差から推測したり、何気なく過ごす日常の土地を多視点で見返すことによって新たな発見をすることが可能となりました。さらに、生徒たち自身も常に課題を探究する姿勢を忘れず、ふるさと札幌の地質を楽しみながら調査していました。

SSHの活動の一環として理科を学ぶだけではなく、他教科や自身の生活を顧み様々な視点へと転移することができる活動でした。是非、また機会があれば参加したいです。



◀講師の方から説明



▶ハンマーで岩石を割る



◀晴天のもとで探索



▶採集と観察

生徒のコメント

3年生

今までは、石や地質についてあまり興味がなかったかが、今回の研修をうけて、興味がわいた。石にも様々なものがあり、種類によりでき方や歴史が違うということがわかった。今回の研修により、札幌の特徴や地形を学ぶことができ、他の地域も知りたいと感じられるようになった。これからは、旅行先の歴史や地形なども調べてみたいと感じた。